®は登録商標

# 使用者の声

「総合殺菌剤 フロンサイドSC」の使用感について、インタビュー！
生産者様の声を紹介いたします。

総合殺菌剤
石原 フロンサイド® SC

## 【ブロッコリー・キャベツ】熊本県 滝本さん

## 新規圃場でも“転ばぬ先の杖”として フロンサイドSCは必ず使用。 すべては、歩留まり向上のために。

熊本県八代郡氷川町で、ブロッコリー 3ha、キャベツ1.2ha、水稲4.5ha、WCS用稲5.5ha、はっさく80a、タケノコ1.2haを主にお一人で栽培している滝本さん。1年間を通して休みなく農作業に取り組んでおり、省力化は大変重要です。「効率よく作業を回していくために、耕起作業が1aあたり15分で終えられるよう機械を配置したり、資材投入のタイミングなども色々と工夫しています。機械は指示した通りにしか動かないので、それを扱う私の方が足を引っ張らないようスケジュール管理には気をつけています」。

### 病害防除は作業効率と確実性を重視。 フロンサイドSCはワンオペの味方。

ブロッコリーとキャベツ栽培では“歩留まり”も重視しているといい、「面積あたりの定植株数が決まっているので、全量をきちんと出荷する意識で栽培しています」と話します。その実現のために定植時の病害防除は欠かせません。特に、アブラナ科作物で問題となりやすい根こぶ病には気をつけているそうです。「根こぶ病になってしまうと、キャベツでは外葉の展開不良が起こり枯れてしまうため、収穫どころではなくなります。フロンサイドSC は、10年前の就農当時に参加した栽培講習会で、根こぶ病防除に実績のある剤として紹介されました。私は就農当初から使っているので、これまで根こぶ病の深刻な被害経験はありません。感染を防ぐために先手を打つようなイメージで、フロンサイドSCを使って土壌の根こぶ病菌を殺菌し予防します。また、定植直前に他社剤を苗へ灌注処理しています」。





### 手遅れにならないために、 フロンサイドSCで先手を打つ。

近隣で根こぶ病が発生している圃場を見るたびに、「発病してからではどうしようもない」と実感してきたという滝本さん。新たに作付けすることになった圃場にもフロンサイドSCを必ず使用するそうです。「フロンサイドSCを入れておくことで、5年後、10年後の菌密度は絶対に変わってくる。転ばぬ先の杖という感覚でひと手間加えるだけで、根こぶ病にかかって作物が全滅してしまうことは回避できるのではと思います」と信頼を寄せています。

様々な工夫を凝らしながら、日々精力的に営農に励む滝本さんに、今後の抱負を伺いました。「この地域は、2000年ほど前から人々が生活を営んできた歴史ある土地です。どうしても後継者不足という課題はありますが、私は法人化も視野に入れつつ、地域の農業を維持・発展させていけたらいいなと思います」。

※取材時（2025年11月）における個人の感想をもとに作成しています。

●使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

ISK Local Insight, Global Impact

石原バイオサイエンス株式会社
〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号

“使用者の声”はwebでもご覧いただけます